

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年06月13日

計画の名称	良好な生活環境と健全な下水道の創出（防災・安全）														
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	盛岡市														
計画の目標	下水道整備を行うことにより、公共用水域の水質保全、衛生的な水環境、安全な生活環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		2,515	A	2,508	B	0	C	7	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0.27	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ H27当初 ）	（ H29末 ）	（ H31末 ）
1	下水道による都市浸水対策整備率を60.8％（ H27 ） から61.0％（ H31 ） に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策整備率	61%	61%	61%
	浸水対策完了済み面積（ ha ） / 浸水対策を実施すべき面積（認可区域面積）（ ha ）			
2	浸水シミュレーション実施率を 8 ％（ H27 ） から100％（ H31 ） に増加させる。			
	浸水シミュレーションの実施率	8%	100%	100%
	浸水シミュレーション実施済みの排水区（ ha ） / 浸水シミュレーションが必要な排水区（ ha ）			
3	ポンプ場の耐震対策実施率を33.3％（ H27 ） から58.3％（ H31 ） に増加させる。			
	ポンプ場の耐震対策実施率	33%	58%	58%
	耐震対策実施箇所数（箇所） / 耐震対策が必要な箇所数（箇所）			
4	ポンプ場の長寿命化対策実施率を0％（ H27 ） から9.1％（ H31 ） に増加させる。			
	ポンプ場の長寿命化対策実施率	0%	0%	9%
	改築工事実施済施設数（箇所） / 改築工事が必要な施設数（箇所）			
5	管渠の長寿命化対策実施率を0％（ H27 ） から49.4％（ H31 ） に増加させる。			
	管渠の長寿命化対策実施率	0%	33%	49%
	改良工事実施済管渠延長（ m ） / 改良工事が必要な管渠延長（ m ）			
6	中川原簡易水処理施設の改築実施率を0％（ H27 ） から75％（ H31 ） に増加させる。			
	中川原簡易水処理施設の改築実施率	0%	75%	75%
	改築工事実施済設備数（基） / 改築工事が必要な設備数（基）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		H27	H28	H29	H30	H31													
		一体的に実施することにより期待される効果																	
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	盛岡市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	雨水管渠の整備	L = 1.4km	盛岡市	■	■	■			1,478	-	-
		浸水対策																	
	A07-002	下水道	一般	盛岡市	直接	-	ポンプ 場	新設	雨水ポンプ場の整備	1 箇所	盛岡市	■	■	■			240		-
		浸水対策																	
	A07-003	下水道	一般	盛岡市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	浸水想定シミュレーショ ン	市街化区域内5,500ha	盛岡市	■	■	■			12		-
		浸水対策																	
	A07-004	下水道	一般	盛岡市	直接	-	-	改築	ポンプ場の耐震対策	9 箇所	盛岡市	■	■	■	■	■	197		-
		総合地震																	
	A07-005	下水道	一般	盛岡市	直接	-	管渠（ 雨水）	改築	ポンプ場の改築実施計画 の策定	11箇所	盛岡市					■	54		-
		ストックマネジメント																	
A07-006	下水道	一般	盛岡市	直接	-	管渠（ 合流）	改築	管渠の長寿命化（都南処 理分区中央処理分区）	合流管L = 2,200m	盛岡市	■	■	■	■	■	336		策定済	
	長寿命化及びストックマネジメント																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	盛岡市	直接	-	管渠（ 合流）	改築	管渠の改築実施計画の策 定（都南処理分区中央処 理分区）	合流管 L = 3,278m	盛岡市				■	■	0	-	-
		ストックマネジメント																	
	A07-008	下水道	一般	盛岡市	直接	-	ポンプ 場	改築	中川原簡易水処理施設の 設備更新	管理棟	盛岡市	■	■	■	■	■	186	-	策定済
		長寿命化及びストックマネジメント																	
	A07-009	下水道	一般	盛岡市	直接	-	ポンプ 場	改築	中川原簡易水処理施設の 改築実施計画の策定	管理棟	盛岡市				■	■	0	-	-
		ストックマネジメント																	
	A07-010	下水道	一般	盛岡市	直接	-	-	改築	緊急老朽化対策事業50年 経過管点検調査	L = 3.5 k m	盛岡市	■	■				5	-	-
		緊急改築推進																	
	A07-011	下水道	一般	盛岡市	直接	-	管渠（ 合流）	新設	事後モニタリング調査	モニタリング調査	盛岡市				■		0		-
		合流改善																	
											小計						2,508		
										合計						2,508			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		H27 H28 H29 H30 H31																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	盛岡市	直接	-	-	-	土のうステーションの整備	土のうステーション整備	盛岡市			■			1	-	
		基幹事業である A 1 - 1 - 1 と併せて未整備地区へ土のうステーションを整備することにより、家屋への浸水被害の軽減を図る。																	
	C07-002	下水道	一般	盛岡市	直接	-	-	新設	内水ハザードマップ作成	市街化区域内5,500ha	盛岡市			■			3	-	
		基幹事業である A 1 - 1 - 3に併せて実施し、内水による浸水に関する情報及び避難に関する情報を住民に提供することにより、内水による浸水被害を最小化する。																	
	C07-003	下水道	一般	盛岡市	直接	-	-	-	老朽管点検調査用資機材整備	管口，取付管カメラ購入	盛岡市	■					3	-	
		基幹事業である A 1 - 4 - 1 と併行して管渠の点検調査を一体的に行うことにより、管の破損による道路陥没や流下阻害を防ぎ、都市活動を確保する。																	
											小計						7		
											合計						7		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
盛岡市上下水道局内の下水道事業計画策定委員会において、進捗状況及び今後の予定等の説明を行い意見を伺った。	令和 7 年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・雨水管渠整備事業により、下水道による都市浸水対策整備率が60.8%から61.4%に上昇し、浸水実績がある箇所の浸水リスク低減が図られた。 ・浸水シュミレーションを実施し、浸水リスクの大きい箇所の把握ができた。また、内水ハザードマップ作成により住民に浸水リスクが大きい箇所を伝えることができた。 ・中川原簡易水処理施設の改築実施により、機能不全となるリスクの低減が図られた。 ・50年経過管の点検調査により、管の老朽化の程度を把握することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

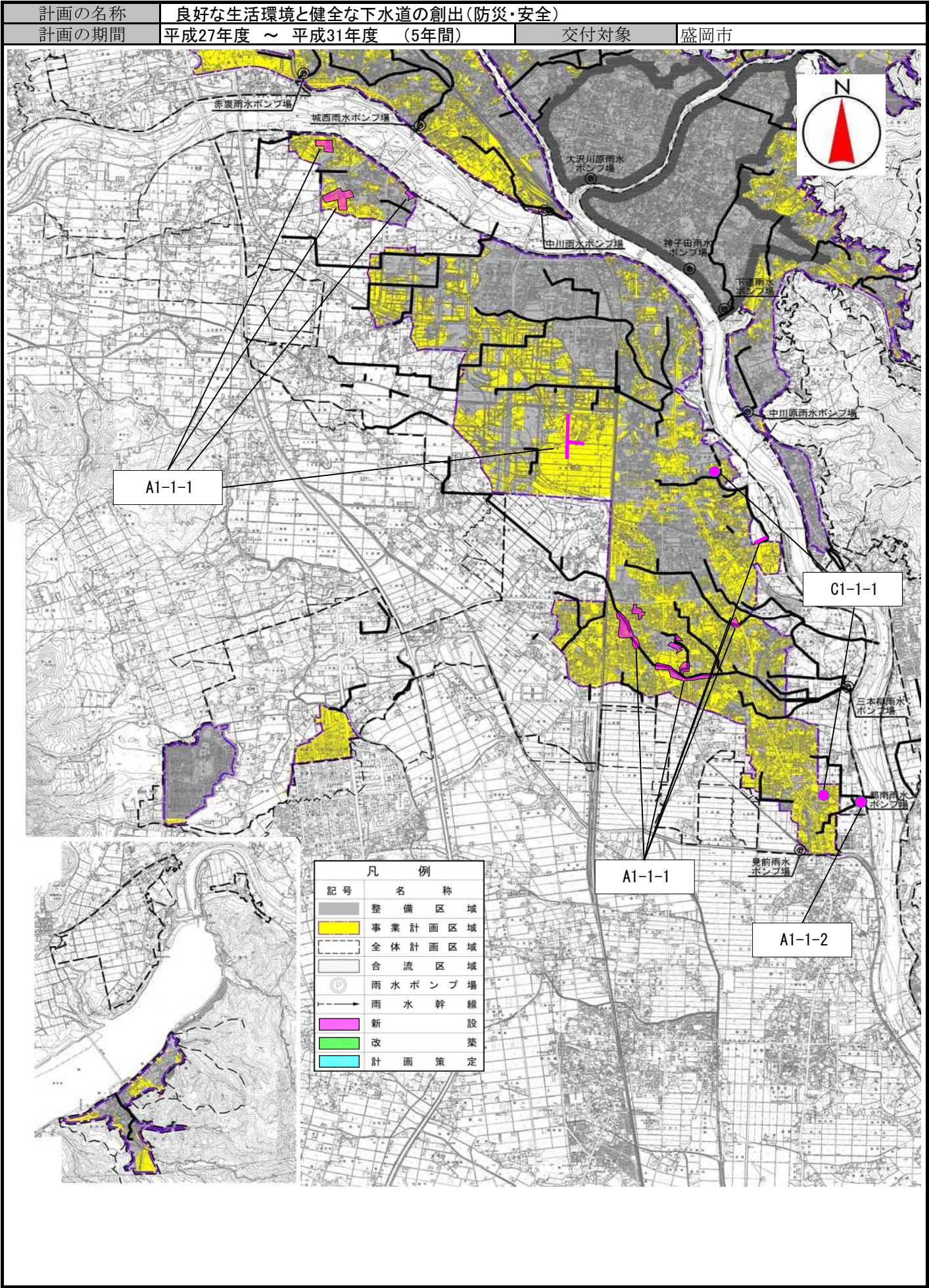
○ 特記事項（今後の方針等）

・浸水被害リスク軽減のために、次期社会資本総合整備計画（H30年度からR4年度の5ヵ年）においても、浸水実績がある箇所を中心に雨水管渠整備を実施する。
 ・浸水シュミレーションについて、未実施区域は、次期社会資本総合整備計画（H30年度からR4年度の5ヵ年）において解析を進めていく。また、内水ハザードマップの作成・公表も順次進めていく。
 ・公共下水道の適切な機能確保のために、次期社会資本総合整備計画（R2年度からR6年度の5ヵ年）においても、老朽化した下水道管渠の長寿命化対策及びポンプ場の耐震対策を進めていく。

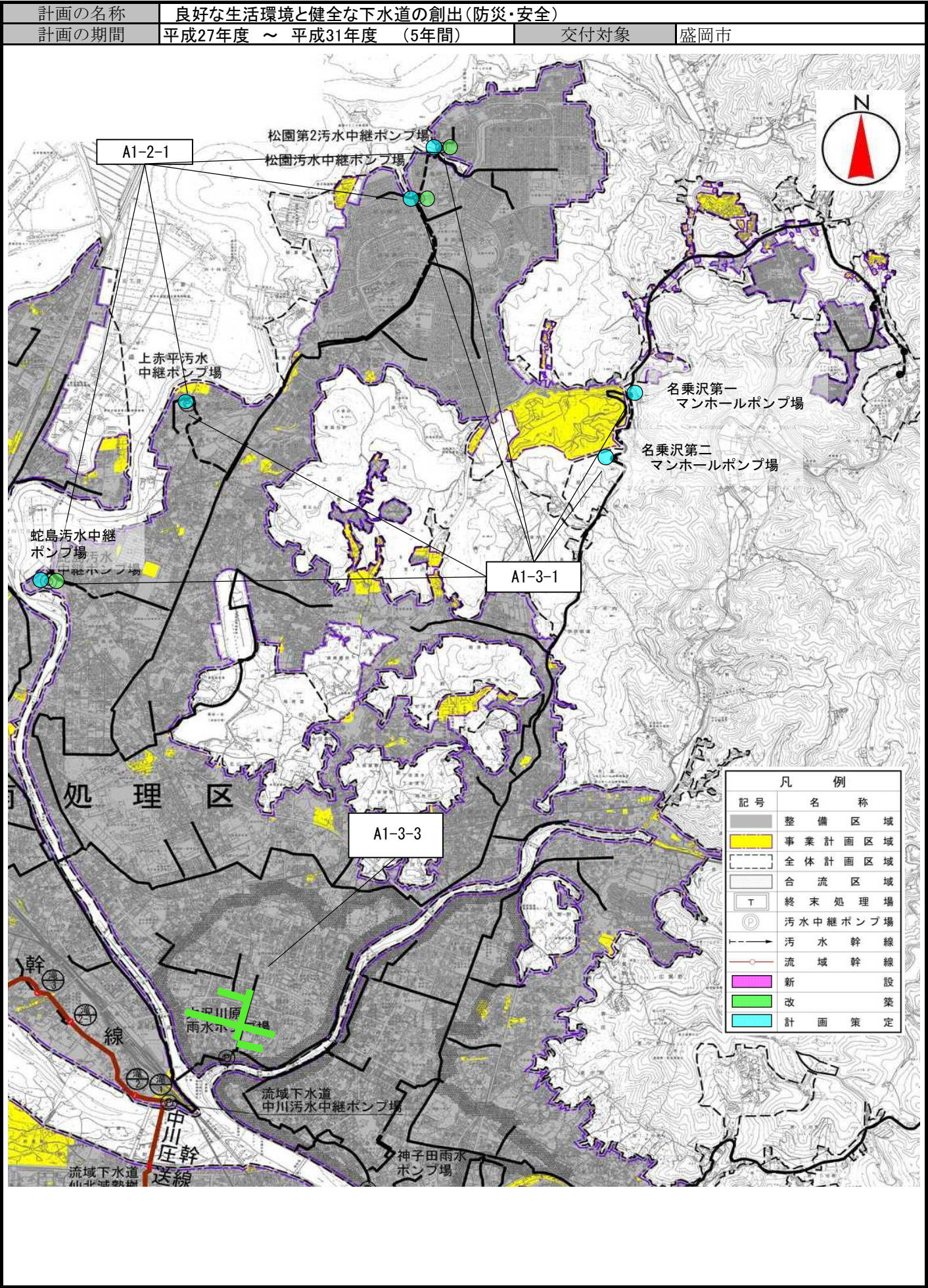
○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策整備率		
	最 終 目標値	61%	業務を効率的に進め、目標値に到達できた。
	最 終 実績値	61%	
2	浸水シミュレーションの実施率		
	最 終 目標値	100%	シュミレーションを実施する上での検討事項が想定より多く、シュミレーション実施可能な範囲に限りがあったため。
	最 終 実績値	18%	
3	ポンプ場の耐震対策実施率		
	最 終 目標値	58%	業務委託に期間を要し、工事に取りかかれなかったため。
	最 終 実績値	33%	
4	ポンプ場の長寿命化対策実施率		
	最 終 目標値	9%	業務委託に期間を要し、工事に取りかかれなかったため。
	最 終 実績値	0%	
5	管渠の長寿命化対策実施率		
	最 終 目標値	49%	工事の遅れにより目標を下回ったため。
	最 終 実績値	17%	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	中川原簡易水処理施設の改築実施率		
	最 終 目標値	75%	効率的に業務を実施でき、目標を上回った。
	最 終 実績値	100%	
7	50年経過管点検調査実施率		
	最 終 目標値	100%	目標を達成できた。
	最 終 実績値	100%	
8	盛岡市合流式下水道緊急改善事業の事後モニタリング調査実施率		
	最 終 目標値	100%	目標を達成できた。
	最 終 実績値	100%	

(参考様式3) (参考図面①)



(参考様式3) (参考図面②)



(参考様式3) (参考図面③)

計画の名称	良好な生活環境と健全な下水道の創出(防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	盛岡市

